

岩手山のふもと、岩手県滝沢市とバイウィルが カーボンニュートラルの取り組みに関する連携協定を締結

LED 設備導入などにより生まれる環境価値と経済価値の循環を起こし、
滝沢市の地域脱炭素と地域経済の活性化に貢献

日本全国 47 都道府県のカーボンニュートラル実現を目指す株式会社バイウィル(本社:東京都中央区、代表取締役社長:下村 雄一郎、以下「バイウィル」)は、岩手県滝沢市(市長:武田 哲、以下「滝沢市」)と、地域のカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミー実現への寄与を目的とした連携協定を締結しました。バイウィルと自治体との連携は、本件が 10 件目です。

本協定をもとに、J-クレジットなどの環境価値に関する情報共有や、新たなビジネスモデルの創出に取り組みます。なお、バイウィルは第一に、滝沢市の事務・事業での LED 設備導入による J-クレジット(*1)創出を支援する予定です。



(写真左)バイウィル 代表取締役社長 下村雄一郎、(写真右)滝沢市 市長 武田 哲氏

*1:J-クレジットとは、省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られた CO2 等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。発行されたクレジットは他の企業等に売却することで、購入者はカーボン・オフ

セットに活用することができる。

【締結日】

2024 年 9 月 9 日 (月)

締結日当日には、滝沢市役所にて締結式を執り行いました。

【協定内容】

滝沢市とバイウィルは、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与するため、以下の事項について協力します。

- (1)環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供
- (2)環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出
- (3)その他、目的を達成するために、2 者が協議して必要と認めること

【締結の背景】

滝沢市は、2050 年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロ、2030 年度までには54% (2013 年度比)削減を目指しています。これまでの傾向から、2030 年度までに約 38.7% の削減は可能と予測されているものの、残りの約 13.7%に当たる 48,000t-CO₂ の削減に向けて、これまで以上の取り組みが求められています。(*2)

多方面で進める取り組みの一つに、「たきざわエコオフィス計画(*3)」があります。これは、市のすべての事務・事業における CO₂ 排出量を、2026 年に 14.6%(2021 年度比)削減するという目標を定めたものです。

具体的には、LED 照明や電気自動車など省エネ設備への交換・導入、また、職員一人ひとりの省エネ意識向上・行動促進を進めています。

今回、これらの取り組みによって削減された CO₂ 排出量を J-クレジットに換え、地域の脱炭素化に活用すべく、連携協定に至りました。

なお、本件は、株式会社岩手銀行(本社:岩手県盛岡市、代表取締役頭取:岩山 徹、以下「岩手銀行」とバイウィルが 2023 年 7 月に締結したビジネスマッチング契約、そして、滝沢市と岩手銀行が 2024 年 5 月に締結した「持続可能な地域社会実現に向けた包括的な連携に関する協定書」をもとに実現しました。

*2:滝沢市『第 1 次滝沢市環境基本計画』

(https://www.city.takizawa.iwate.jp/life/kankyo/kankyobika_hozen/12794/12853.html)

*3:滝沢市『R05－R08 たきざわエコオフィス計画』

(<https://www.city.takizawa.iwate.jp/var/rev0/0143/2920/1238895740.pdf>)

【今後の展望】

滝沢市は第一に、市の事業における LED 照明の導入によって削減された CO2 排出量から J-クレジット創出に取り組む予定です。バイウィルは、J-クレジット創出プロジェクトの登録・申請からモニタリング、創出した J-クレジットの販売までを一貫して代行します。

なお、販売先に関しては地域企業を優先し、「地産地消」によって地域脱炭素を促進する予定です。バイウィルは、J-クレジットをはじめとする環境価値を活用し、滝沢市のカーボンニュートラル達成に貢献いたします。

【バイウィル 代表取締役社長 下村 雄一郎 コメント】

この度は、滝沢市様と、カーボンニュートラルの取り組みに関する連携協定締結という機会を賜り、御礼申し上げます。

滝沢市では 2050 年温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、様々な取り組みを進めておられます。ですが、今後はこれまで以上の取り組みが必要だと考えておられ、当社もご面談させていただくようになりました。

お話を進めるなかで、「カーボンニュートラルな社会に向けて、滝沢市としてできることはないか」と真摯に考えておられることを、ひしひしと感じました。その思いが、今回の連携協定に繋がったのだと考えております。改めて、感謝申し上げます。



なお、弊社がカーボンニュートラルに向けた連携協定を締結させていただくのは、岩手県で 2 市目となります。この先進的な取り組みを、岩手県内はもちろん、東北地方、日本全国に波及させることで、岩手県には日本全国におけるカーボンニュートラルの先駆けとなっていただければと思います。

弊社はそのサポートをしながら、滝沢市の温室効果ガス排出量実質ゼロ、そして岩手県のカーボンニュートラル実現に貢献いたします。

【滝沢市 概要】

名称： 滝沢市

代表者： 市長 武田 哲

所在地： 〒020-0692 岩手県滝沢市中鵜飼 55

【バイウィル 会社概要】

社名： 株式会社バイウィル

代表者： 代表取締役社長 下村 雄一郎

所在地： 〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6 階

事業内容：

- ・環境価値創出支援事業(クレジット創出)
- ・環境価値売買事業(クレジット調達・仲介)
- ・脱炭素コンサルティング事業
- ・ブランドコンサルティング事業

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社バイウィル 広報担当

e-mail:info@bywill.co.jp

TEL:03-6262-3584(代表)